



第2回岩手県社会教育主事等会議

つなぐ・ひらくで 動き出す地域

宮古教育事務所
社会教育主事 村上 稔



令和4年度 雪ん子野外教室


令和2年度～
陸中海岸青少年の家

令和5年度～
宮古教育事務所

社会教育主事6年目



本日の内容

- 
- 1 行動指針
 - 2 つなぐ～人・地域を結ぶ～
 - 3 ひらく～新しい視点や可能性を開く～
 - 4 実践を支える職場の土台づくり

足で稼ぐこと

社教として勤務した初日…

陸中海岸青少年の家 齋藤剛 研修班長から言われた言葉

- 社会教育主事は、足で稼いでナンボ。
- 机上だけで仕事をしない。とにかく現場を見に行くこと。
- 面白そうな人、施設、団体…気になったら、会いに出かけよう。何度も会いに行こう。
- 名刺を何度も配って、とにかく顔と名前を売ること。
- 出前講座や出張の帰り、真っすぐ所へ戻ってこない。
- 強みの他、困っていること、課題として感じていることを聞いてくる。
- つながっていくことの楽しさを味わうこと。

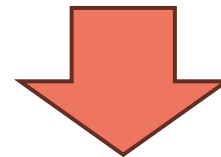


つなぐ
～人・地域を結ぶ～

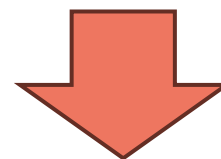
宮古短期大学図書館MLAの取組



学生が主体となり図書館運営をするMLAの取組を取材
短大…管内の学校とつながりを持ちたい
学生…地域貢献できることを見つけたい



- ★指導主事会議で所内全体へ情報提供
- ★管内社会教育主事等会議で市町村への情報提供
- ★地域学校協働活動推進員への周知
- ★中・高図書館担当者研修会への参加
(短大図書館職員×中・高教職員等)
- ★短大図書館を会場とした研修会の実施
(学生×推進員×市町村図書館職員×公民館職員等)



- ・小・中学校、高校との連携した活動への発展
- ・短大生による学校図書館の環境整備 (準備中)
- ・小中学校で読み聞かせの実施 (準備中)
- ・公民館事業への発展 (準備中)

宮古短大図書館と連携した活動



岩手県立大学宮古短期大学部 図書館ツアー参加者募集!

令和7年9月8日(月)、26日(金)

活動場所：岩手県立大学宮古短期大学部 図書館
(宮古市河南1丁目5-1)



募集人数 10名程度



募集対象 ・河南中学校の生徒
・河南中学校の先生方

活動内容

- ・14:00～ 館内利用説明・案内後解散時間は自由
- ・宮古短期大学図書館の利用者登録
(利用者登録を希望する方は、生徒手帳または身分証を持参してください)
- ・館内利用説明、案内
- ・自由に読書、勉強

【下記体験も可能】※体験時間：30～40分程度

- ・カラフルしおりを作ろう
- ・ブックカバー掛け(透明なカバーをかける体験です。1冊本を持参してください)
- ・紙袋を再生して作るブックカバー

応募方法 裏面の「図書館ツアー参加申込用紙」に必要事項を記入の上、副校長先生に提出してください。

申込締切 開催日の3日前

宮古市立河南中学校地域学校協働本部 TEL: 0193-62-2602



鵬(おおとり)

令和7年9月16日 第4号
宮古市立河南中学校
地域学校協働活動推進員 川俣由衣

岩手県立大学宮古短期大学部図書館ツアー



はじめに、図書館の利用方法などを伺いました。この日は、校長先生と萌子先生も図書館ツアーに参加してくださいました♪

9月8日に岩手県立大学宮古短期大学部図書館にて、図書館ツアーを行いました。大学図書館の利用方法や施設の案内、ブックカバー掛け体験など、充実した時間を過ごしてきました。

宮古短期大学だからこそ情報処理に関連する本が多かったり、英検の問題集や本屋大賞を受賞したばかりの本があったりと、参加者全員目を輝かせながら説明を聞いたり、本を選んでいました。当日受付をしてくれた学生さんは、河南中出身の先輩でした。図書館のことは勿論、大学の雰囲気を味わいに、是非9月26日(金)の図書館ツアーにお申し込みください♪



分類別にどんな本が置いてある



ブックカバー掛けに挑戦。練習



紙袋を利用して、ブックカバー

宮古地区社会教育関係職員等研修会

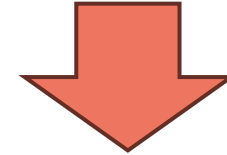
ポーラ（包括連携協定企業）による演習



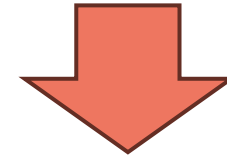
～ポーラを招いた背景～

- ・各市町村で家庭教育に関する関心度の向上
- ・家庭教育支援チーム登録のメリットとして、包括連携協定企業に関する情報を提供できる可能性

管内社会教育主事等会議で毎年話題にしているものの、
家庭教育支援チーム登録数が少ない課題



★市町村訪問の際、家庭教育担当者へ説明・雑談



市町村家庭教育担当者の声

- ・（全国に比べて、本県のチーム数が少なく）悔しい！こんなに子育てに優しい地域なのに。家庭教育の〇〇にします。
- ・仕組みについて詳しく知らなかった。正直、家庭教育支援に関するものは後回しになっている感がある。

ポーラ（包括連携協定企業）×市町村事業

夏の市民交流まつり

夏の日焼け
エアコンなどからお肌を
まもろう！

親子スキンケア教室

7月26日（土） 13時30分～14時30分

市民交流センター2階 創作スタジオ

お顔のスキンケアを体験してみよう！
（洗顔・化粧水・乳液・日焼け止め）

保護者の方は手でも可

講師：株式会社ポーラ

対象：小学生とその保護者
10組

※事前申し込みが必要です。

持ち物：フェイスタオル（1人1枚）
メイク品（洗顔後にメイクするかた）

参加費
無料

親子でぶるぶる♪



【お申込み・お問い合わせ】
宮古市市民交流センター
TEL：0193-63-4166

電話または右の申込みフォームから
お申し込みください



申込みフォーム

親子スキンケア教室

ふわモコ泡で洗顔してみよう！



無料

日にち：令和7年9月20日（土）
時間：10時30分～11時45分
場所：アズビィホール 調理室・会議室
内容：お顔でスキンケア体験（手でもOK）
夏の紫外線ダメージ、秋の乾燥対策
親子でハンドケア
対象：小学1年生～中学3年生親子
定員：20組
持ち物：フェイスタオル（1人1枚）

【講師】
株式会社 ポーラ

■お申し込み■
9月8日（月）までに、田野畑村教育
委員会へ電話または申込みフォームから
お申し込みください。

田野畑村教育委員会
☎0194-34-2226

申込みフォーム



田野畑村教育委員会

＼明日の朝が楽しみになる！／

40代からの美肌ケア & ナチュラル美人メイク体験

朝、鏡を見るのが待ち遠しくなる——
素肌をいたわるケアと、ほんのひと手間のナチュラル美人メイクで、
40代からの肌をもっと輝きます！

血流up!

気分up!

印象up!



11月22日（土）

13:30～15:30
アズビィホール

朝、鏡を見るのが待ち遠しくなる。
年齢を重ねる自分が、少しずつ嫌になっていく。
思い切って、ほんの少しだけ
自分と向き合う時間をつくった。
肌をいたわるケアを学び、メイクを変えた。
——今は、鏡の前で自然に笑える。
明日が、また楽しみになる。
40代から始める美肌ケアとナチュラル美人メイク。
その一歩を踏み出してませんか？

講師 株式会社 ポーラ

参加料 無料

■対象 おおむね40代から50代の女性
■定員 8名
■持ち物 フェイスタオル

*リッチ・フルメイクをご希望ください。
*満席中、後日締め止めの場合があります。

お申し込み

申込みフォーム



11月20日（日）までに田野畑村教育委員会
へ電話または申込みフォームからお申
し込みください。

令和7年度 趣味・教養講座
田野畑村教育委員会 ☎0194-34-2226



ひらく

～新しい視点や可能性をひらく～

3 ひらく～新しい視点や可能性をひらく～

令和7年度
宮古地区家庭教育・子育て支援
ネットワーク研修会

子育て×地域の力

10月23日(木)



実践発表①
宮古市家庭教育支援チーム
「みやこっこ」
八島 彩香 氏

実践発表②
特定非営利活動法人
「なないろ」
高橋 理奈 氏

保護者の居場所づくりや学習機会の提供等の家庭教育支援に取り組んでいる2つの団体から、実践発表をしていただきます。

【日程】 13:00～受付
13:15～開講行事
13:25～趣旨説明
13:30～実践発表
15:10～講義
16:10～閉会行事

【対象】 ・子育てサポーター、子育て支援担当者
・幼稚園・こども園・保育園(所)職員
・学校関係者、地域学校協働活動推進員
・PTA 等

【会場】 宮古地区合同庁舎

講義「子ども家庭支援における地域資源の活用」
盛岡大学短期大学部
教授 大塚 健樹 氏
子ども家庭支援に関する現状と課題についてお話をいただきます。地域の子育て支援のあり方について、参加者全体で学ぶ時間となります。

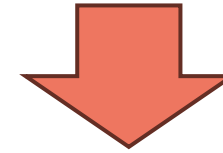
(※詳細については開催要項を御覧ください)

問合せ 宮古教育事務所 教務課 社会教育・生涯学習担当 Tel:0193-64-2222 Fax:0193-62-3995

家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会

★保健福祉環境センターと研修内容の打ち合わせ

- ・保護者支援や子どもの居場所づくりに関する情報提供
- ・家庭教育支援チームの周知と登録増が課題であれば…
- ・参加者同士のネットワーク構築



★研修の企画

- ・家庭教育支援チームの概要説明
⇒家庭教育支援チーム登録制度の周知
- ・家庭教育支援チームの実践発表＋活動を価値づける講義
- ・情報交換
⇒参加者の実態把握を踏まえた座席(グループ)配置

★ネットワーク構築のための参加者の実態把握

- ・同じグループにして交流しただけでは、ただの「顔見知り」
- ・お互いに取り組んでいること、課題や悩みを交流し「一緒にやろう」や解決の見通しをもたせるところまでつなげたい。
- ・参加者が、どんな活動、どんな強み、課題、悩みを抱えているか事前に把握する

3 ひらく～新しい視点や可能性をひらく～

令和7年度
宮古地区家庭教育・子育て支援
ネットワーク研修会

子育て×地域の力

10月23日(木)



実践発表①
宮古市家庭教育支援チーム
「みやこっこ」
八島 彩香 氏

実践発表②
特定非営利活動法人
「なないろ」
高橋 理奈 氏
保護者の居場所づくりや学習機会の提供等の
家庭教育支援に取り組んでいる2つの団体
から、実践発表をしていただきます。

【日程】 13:00～受付
13:15～開講行事
13:25～趣旨説明
13:30～実践発表
15:10～講義
16:10～閉会行事

【対象】 ・子育てサポーター、子育て支援担当者
・幼稚園・こども園・保育園(所)職員
・学校関係者、地域学校協働活動推進員
・PTA 等

【会場】 宮古地区合同庁舎

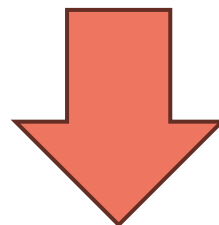
**講義「子ども家庭支援における
地域資源の活用」**
盛岡大学短期大学部
教授 大塚 健樹 氏
子ども家庭支援に関する現状と課題についてお
話をいただきます。地域の子育て支援のあり方につ
いて、参加者全体で学ぶ時間となります。

(※詳細については開催要項を御覧ください)

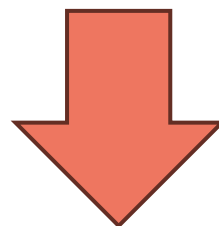
研修後のレスポンス①

家庭教育支援チームに2チーム登録

研修参加者から、教育事務所や市町村へ
対象となる可能性のある団体や施設の情報提供多数



★教育事務所と市町村で情報共有



★市町村担当者と一緒に団体や施設へ訪問、取材
★家庭教育支援チームの登録制度について説明

研修後のレスポンス② 研修参加者同士のつながり



ひとり親家庭対象の料理教室の開催

- ・BlessU（山田町）
ひとり親家庭を対象とした支援団体
- ×
- ・しあわせクッキング（宮古市）
親子向け食育を推進している団体



情報交換会の開催

- ・アジュールコザワ（宮古市）
親子向け自然体験活動の提供団体
- ×
- ・たのまるプロジェクト（田野畑村）
自然の中で子どもの居場所づくりに取り組む団体

行政とのつながりが登録のメリット

4

目次

アンケート結果

連携のススメ

好事例の紹介

参考資料

家庭教育支援チーム アンケート結果から

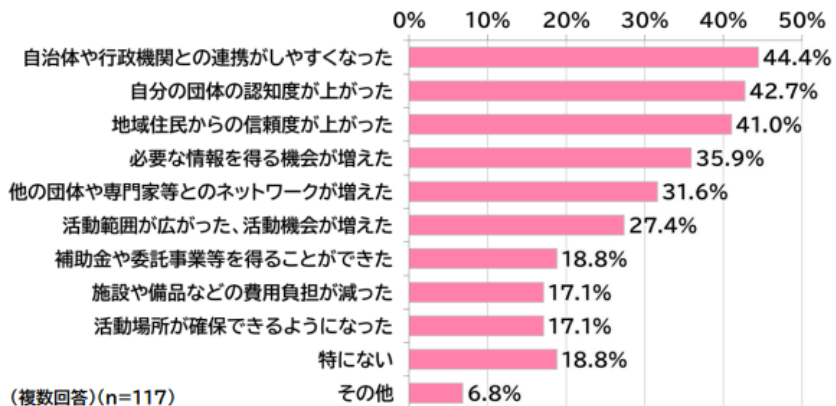
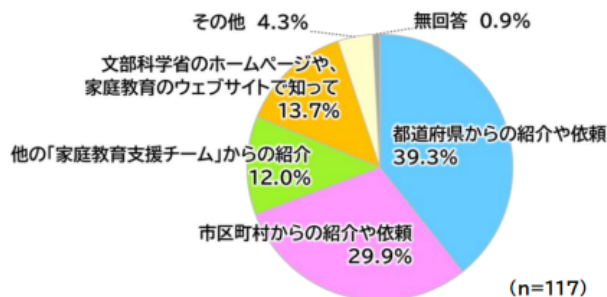
01

「家庭教育支援チーム」になったきっかけ

もともと地域で活動していた民間団体117チームが、『家庭教育支援チーム』に登録したきっかけをききました。
自治体から民間団体への働きかけをきっかけとする団体が多いです。

ここでは、全国の家庭教育支援チームアンケート結果の一部をご紹介します。

※文部科学省の「家庭教育支援チーム登録制度」への登録の有無にかかわらず、各都道府県・政令市が把握している全ての家庭教育支援チームが対象。回収数311件(回収率30.2%)。うち、もともと活動していた民間団体が『家庭教育支援チーム』になった(登録した)チームは117件。



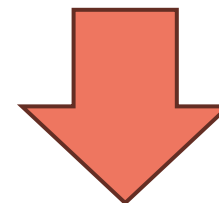
02

よかったこと

民間団体が「家庭教育支援チーム」になったことで、よかったことをききました。

8割以上のチームが、何かしらよかったことがあるという結果となりました。特に、「自治体との連携」「認知度・信頼度の向上」について、メリットを感じているチームが多いといえます。

家庭教育支援チームに登録してよかったこととして、「自治体や行政機関との連携がしやすくなった」を一番のメリットとして捉えている。



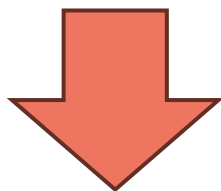
★行政として何ができるか

家庭教育支援チーム×保健福祉環境センター

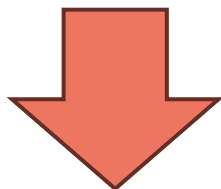


宮古市 家庭教育支援チーム
みやこっこ

ひとり親家庭の支援をしたい。
どこにアプローチしたらよいか…



★保健福祉環境センターに情報提供



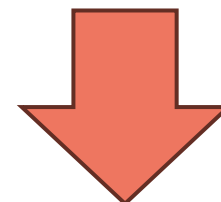
宮古圏域ひとり親家庭等地域ネットワーク会議
実践発表で関係機関へ周知

家庭教育支援チーム×チーム社教

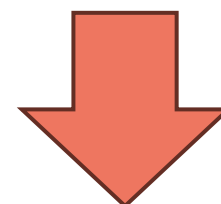


宮古市 家庭教育支援チーム
アジールコザワ

次年度の事業について、企画段階から
支援してほしい…



宮古市担当者に相談



★チーム社教（宮教事・陸中）で対応


令和8年度家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会 企画ミーティング & 情報交流会

- ・日頃の取組に関する情報交流
- ・研修会が管内の課題解決の場 & 家庭教育支援チームのフォローアップとしての位置づけへ
⇒学びたいことについて意見を可能な限り反映
- ・家庭教育支援チームが研修会の運営サポート

【参加者】

- 家庭教育支援4チーム
- 保健福祉環境センター
- 教育委員会 家庭教育担当者
- 宮古教育事務所





実践を支える
職場の土台

所内で社会教育の理解と関心を深める工夫

- 毎月の会議「社教から」コーナーでPR
- 社教事業の運営に指導主事の力を借りる
 - ⇒推進フォーラムでは、熟議や模擬学校運営協議会にも参加
- 所内の研修会運営サポート、積極的な参観
- 学校運営協議会へは、市町村指導主事と一緒に訪問
 - ⇒同じ温度感で面白がる・課題感を感じる
- 地域学校協働活動も、指導主事と一緒に視察

宮古教育事務所便り
第131号
令和7年
12月22日(月)

宮古の風

～新しい風は東から～

昨シーズンは、ほとんど降らなかった雪ですが、先日ドカッと降ってしまいましたね。雪、地震、鳥インフル等の自然災害も心配なところではありますが、せめて、年末年始はゆっくり過ごせますように…とお祈りします。
皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。 文責：遠藤 恵

企画総務課特集 ～令和7年度 管内小中学校事務職員研修会～

9月26日(金)「学校事務推進に必要な知識を習得するとともに、職務上果たすべき役割について理解を深めることにより、小中学校事務職員としての資質の向上を図ること」を目的に、宮古地区合同庁舎大会議室にて開催しました。

研修では、最初に「学校を取り巻く環境と事務職員に期待すること」として所長講話を行いました。Society5.0、DX、STEAM教育など、学校を取りまく現在の重要なポイント、ICT 技術を活用した学びの環境整備など令和の日本型教育の目指す姿、ICT に係る予算の現状、急激に進む人口減少など、社会情勢の変化を説明しました。



後半は「行政職としての専門性を活かした御意見番であって欲しい」など、事務職員に期待すること、そして、大切にしてほしい心の持ち方についてお話ししました。

研修Ⅰでは「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」として、村上社会教育主事が講話を行いました。CS や地域学校協働活動について、法律上の位置付け、目的、実際の活動内容、効果などを説明し、出席者にもそれぞれの思い浮かべた活動について意見交換を行ってもらうことにより、身近なものとして感じてもらいました。

また、事務連絡として、7月～8月に実施した事務状況調査の結果、結果を踏まえた留意事項、諸手当の過年度追給・返納について、給与・旅費に係る留意事項について、それぞれ担当から説明しました。



最後に研修Ⅱとして、「手当・旅費の演習問題」に取り組んで

～今年度の主なトピック～

- 事務職員研修会でCSに関する講義
- 指導主事からCS関連の情報提供
- 令和8年度～校内研Ⅲ型（校内研修支援）に

「CSと地域学校協働活動（仮）」が追加予定



ありがとうございました